

大垣西濃信用金庫

「お客さま本位の業務運営（フィデューシャリー・デューティー）」に関する基本方針

大垣西濃信用金庫は、お客さま本位の業務運営をより一層進めるため、基本方針を制定し遵守してまいります。

当金庫は、「お客さま、地域社会、だいしん」の絆を大切に、三者が共に栄える「三方よし」の経営方針に則り、信用の維持と質の高いサービスの提供に取り組んでおります。

これからも、お客さま一人ひとりに適切なコンサルティングを実施し、お客さまの資産形成・資産運用の実現のために「お客さま本位の業務運営（フィデューシャリー・デューティー）」に関する取り組みを行ってまいります。

本方針の実施状況については定期的に見直すとともに、ディスクロージャー誌及びホームページに公表してまいります。

1. お客さまの最善の利益の追求

お客さまに対し誠実・公正に業務を行い、お客さま一人ひとりに適した良質なサービスを提供することにより、お客さまの最善の利益を図ります。

2. 利益相反の適切な管理

お客さまの利益が不当に損なわれることがないよう、「利益相反管理方針」に基づき適切に管理します。

3. 重要な情報の分かりやすい提供

お客さまにご案内する金融商品の特性、リスクとリターンの関係や手数料等の重要な情報について、適切な資料を使用し分かりやすい表現を用いて説明します。

4. お客さまにふさわしいサービスの提供

お客さまの多様なニーズにお応えするために、商品・サービスの充実を図るとともに、お客さまの知識、経験、財産の状況、投資目的等に沿ったご提案をします。

5. 職員に対する適切な動機づけの枠組み等

お客さまの最善の利益のため、高い専門性とコンサルティング能力を備えた人材の育成と、専門性を身に付けるための資格取得支援等に取り組めます。



いっしょにあしたへ

大垣西濃信用金庫

お客さま本位の業務運営(フィデューシャリー・デューティー)の
基本方針・取組状況・定量指数等(2024年3月基準)

基本方針	取組状況	定量指数
1.お客さまの最善の利益の追求 お客さまに対し誠実・公正に業務を行い、お客さま一人ひとりに適した良質なサービスを提供することにより、お客様の最善の利益を図ります。	・大垣西濃信用金庫(以下、当金庫)は、お客さま一人ひとりに適したサービスを提供するために、ツールを活用しライフプランや資産に応じたご提案を致します。 ・お客さまのニーズに応じた商品提供により、お客さまの資産運用をお手伝いします。 ・NISA制度をご案内し、お客様の最善の利益追求にお役立て頂きます。 ・長期運用による資産形成に適した、1年決算型の投信商品の割合を増やして参ります。	(1)各種預かり資産研修の実施回数 (2)お客さま向けセミナー実施回数 (3)NISA口座数推移 (4)投資信託毎月分配型商品割合の推移 (5)投資信託の販売額と一時払生命保険の販売額 (以下共通KPI) (6)運用損益別顧客比率 (7)投資信託の預かり残高上位20銘柄のコスト・リターン/リスク・リターン (8)当金庫の投資信託保有残高上位20銘柄
2.利益相反の適切な管理 お客さまの利益が不当に損なわれることのないよう、「利益相反管理方針」に基づき適切に管理します。	・当金庫の「利益相反管理方針」に基づき、お客さまの利益が不当に損なわれることの無いよう、管理しています。 ・利益相反防止のため、チェックリストを活用しております。	
3.重要な情報の分かりやすい提供 お客さまにご案内する金融商品の特性、リスクとリターンの関係や手数料等の重要な情報について、適切な資料を使用し分かりやすい表現を用いて説明します。	・「投資信託スタートガイド」を活用し分かりやすい表現を用いて説明致します。 ・ホームページ上の投資信託情報システムを活用し、タイムリーな運用状況等や商品内容をタブレット等を用いて説明しております。 ・投資信託に関する費用等を一覧表に表示し説明する他、投資信託・保険商品について、重要情報シート(個別商品編)を用いて商品情報をわかりやすく説明します。	・投資信託情報システム利用数
4.お客さまにふさわしいサービスの提供 お客さまの多様なニーズにお応えするために、商品・サービスの充実を図ると共に、お客さまの知識・経験・財産の状況、投資目的に沿ったご提案をします。	・商品・サービスの充実を図り、お客様が商品を選択する際に役立てて頂きます。	・投資信託ラインナップ ・生命保険ラインナップ
5.職員に対する適切な動機づけの枠組み等 お客さまの最善の利益のため、高い専門性とコンサルティング能力を備えた人材の育成と、専門性を身に付けるための資格取得支援等に取り組めます。	・高い専門性を身につけたマネーアドバイザー(MA)を育成し、職員の専門化を図ります。 ・FPの資格取得を支援し取得者の増加を図ります。	・マネーアドバイザー(MA)の人数推移 ・FP資格取得者割合推移

お客さま本位の業務運営(フィデューシャリー・デューティー)に関する基本方針の取り組み状況について

1.お客さまの最善の利益の追求

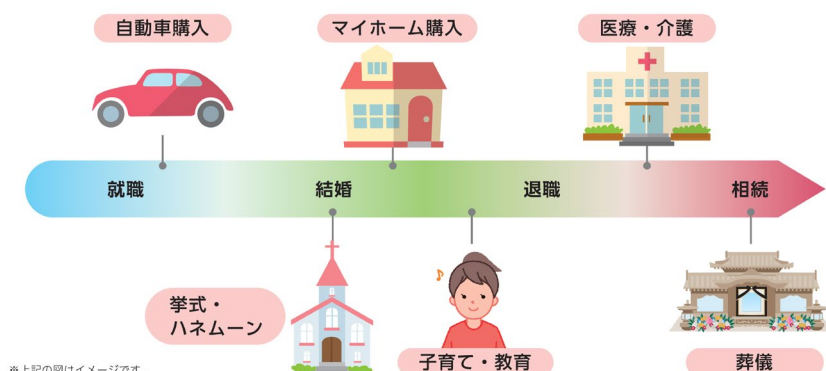
顧客本位の業務運営に関する原則2:「顧客の最善の利益の追求」に対応

○お客さまの目的に応じたご提案

- ・お客さまの人生においてライフイベントではさまざまなお金が必要になります。
- ・何のための資産運用なのか、その目的に適した資産運用のご提案を致します。

お金が必要になるライフイベントって？

人生においてライフイベントではさまざまなお金が必要になります。
そのため、将来にそなえるための準備(自助努力)が必要です。



※上記の図はイメージです。

(お客様の資産運用スタート時にはスタートガイドを使用しています。)

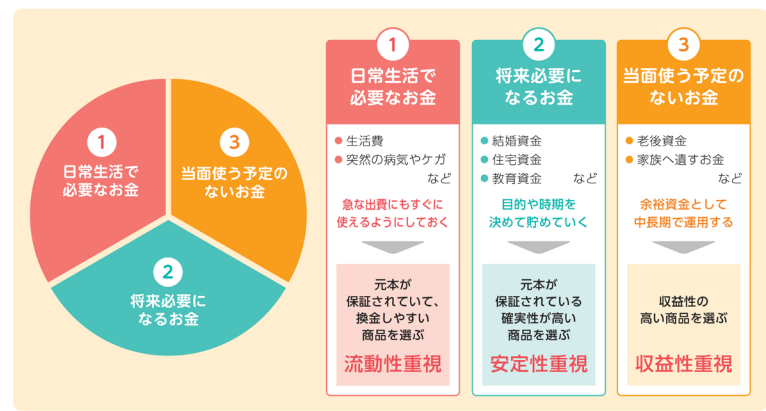
○資産に応じたご提案

- ・お客さまの資産を大きく3つに色分けし、適した金額による資産運用をご提案します。

お金の色分けをしてみましょう

資産運用をする前に、現在どのようなお金があるのか確認をしてみましょう。

お金を大きく3つに分けることで、お客さまご自身の資産状況を把握することができ、目的に応じたお金の使い方や資産運用に適したお金がみえてきます。



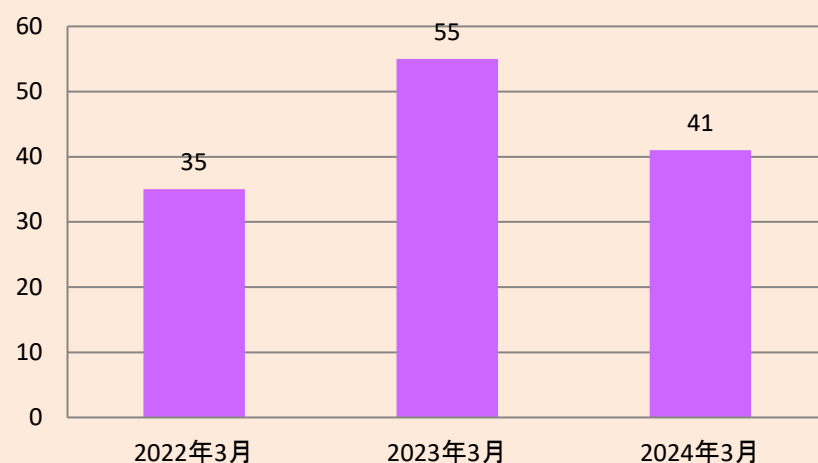
(1)各種預り資産研修の実施

- ・お客さま一人ひとりに良質なサービスを提供するため、営業店の職員に対し定期的に預り資産（投資信託・生命保険・NISA制度等）研修を行っています。

年度	2022年3月	2023年3月	2024年3月
研修開催数	35	55	41



生保・投信集合研修実施数推移



(2)お客さま向けのセミナー実施

- ・金融リテラシーの向上に役立てていただくため、地域のお客さまやお取引先企業にお勤めのお客様に対し、資産形成・資産運用セミナーを開催しており、2023年度は計15回開催致しました。
- ・2024年1月にスタートした新NISAのセミナーでは、しくみを始め「長期・積立・分散投資」による継続的な資産形成方法等をご紹介します。

開催月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
開催数	0	2	1	1	1	2	3	1	1	2	0	1	15

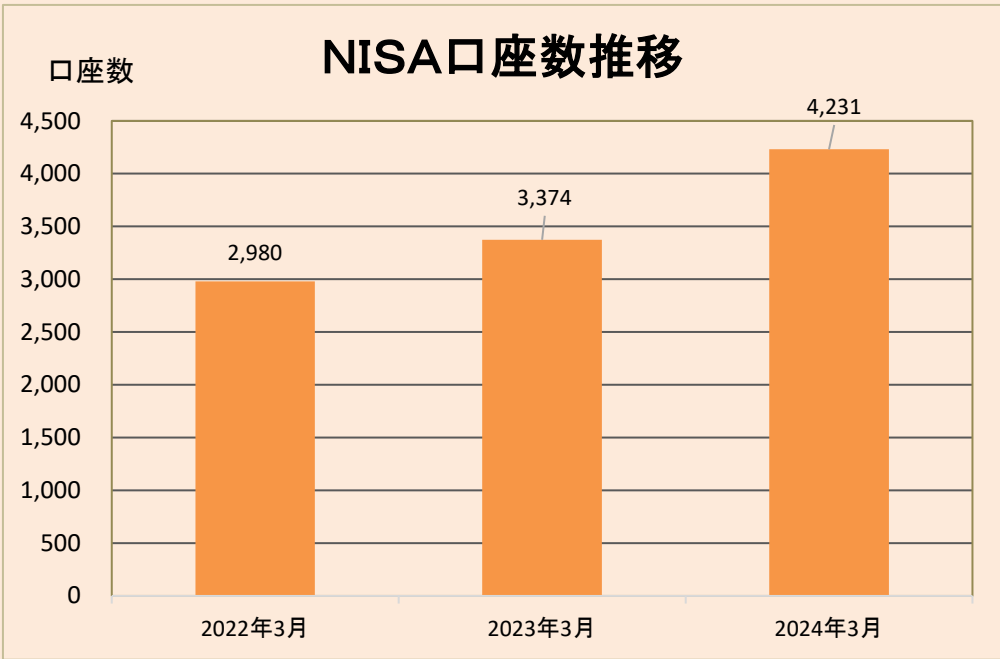


1.お客さまの最善の利益の追求

顧客本位の業務運営に関する原則2:「顧客の最善の利益の追求」に対応

(3) NISA口座のご提案

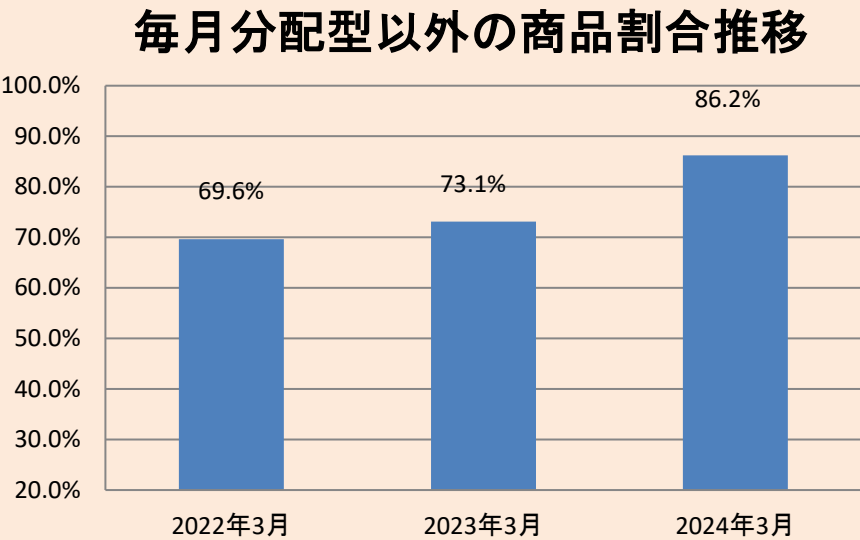
- ・長期にわたりお客さまの資産運用を支援するための税制優遇制度(NISA)をご提案しています。



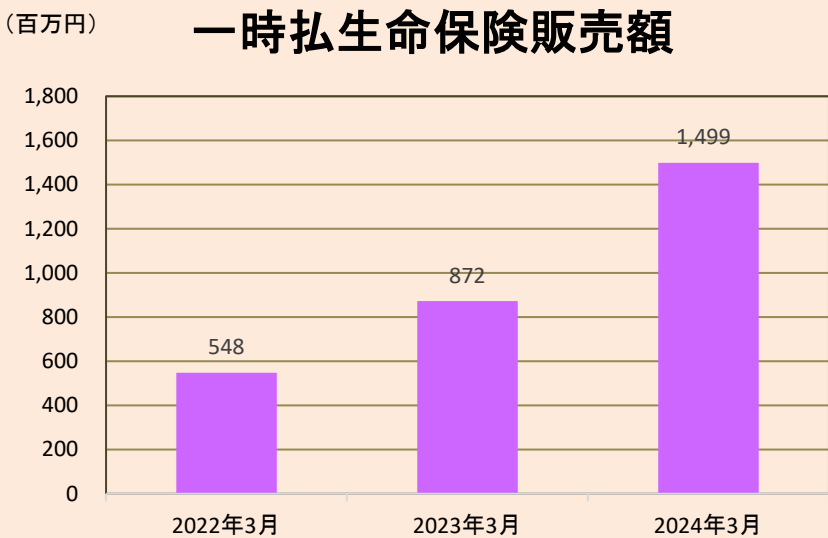
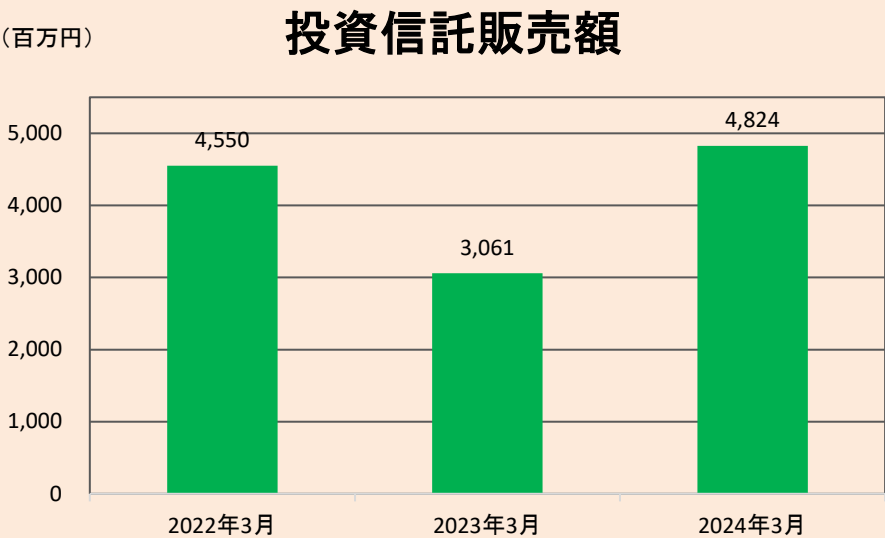
・2024年1月新NISAスタートに伴い、NISA口座のお申込みは、増加しています。2024年3月時点のNISA口座数は4,231件となりました。

(4) 投資信託毎月分配型以外の商品割合推移

- ・長期保有による資産形成を目的とするお客さまに役立てて頂くよう、比較的運用効率が高いとされる1年決算型商品の割合を増加しています。その結果、毎月分配型の商品の割合は減少しています。



(5) 投資信託の販売額と一時払生命保険の販売額



1.お客さまの最善の利益の追求 ～共通KPI～

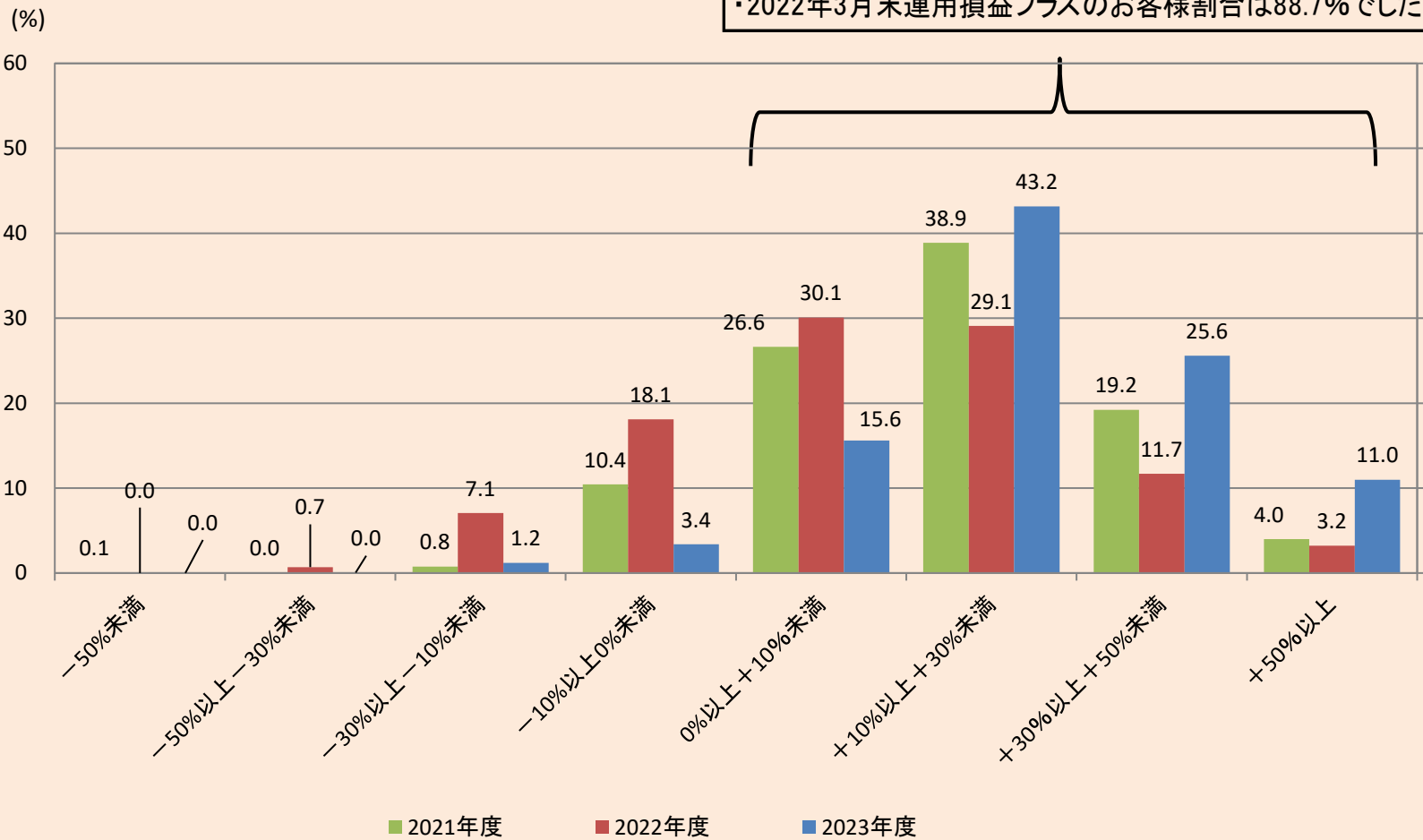
顧客本位の業務運営に関する原則2:「顧客の最善の利益の追求」に対応

(6)投資信託の運用損益別顧客比率

- ・当金庫で投資信託を保有しているお客さまについて、基準日時点の保有投資信託に係る購入時以降の運用損益(手数料控除後)を算出し、運用損益顧客比率を示した指標です。
 - ・2023年度(2024年3月末)は、運用損益がプラスのお客さまは95.4%という結果でした。
- ※投資信託を保有中のお客さまの、購入時から基準日(2024年3月31日)までの運用実績であり、基準日までに解約されたお客さまの実績は含みません。

2021年度・2022年度・2023年度 実績

- ・2024年3月末運用損益プラスお客様割合は95.4%でした。
- ・2023年3月末運用損益プラスのお客様割合は74.1%でした。
- ・2022年3月末運用損益プラスのお客様割合は88.7%でした。



※運用益は市場の動向により変化します。

・運用損益＝基準日時点の評価金額＋累計受取分配金(税引き後)＋累計売付金額－累計買付金額(含む税込販売手数料)にて算出。

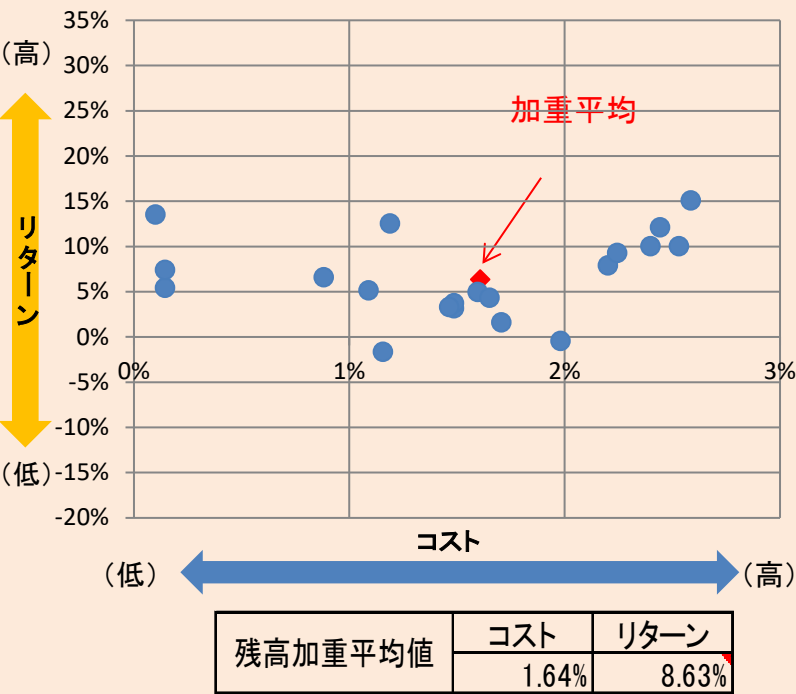
1.お客さまの最善の利益の追求 ～共通KPI～

顧客本位の業務運営に関する原則2:「顧客の最善の利益の追求」に対応

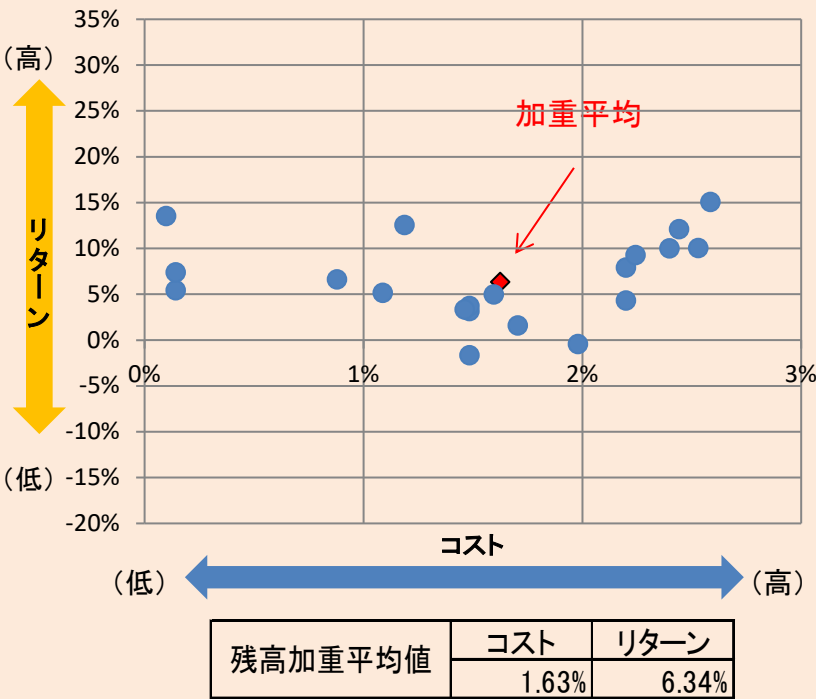
(7)①投資信託の預かり残高上位20銘柄のコスト・リターン

- ・投資信託（設定後5年以上）の預り資産上位20銘柄について、銘柄ごとに預り資産残高加重平均し、コストとリターンの関係、リスクとリターンの関係を示した指標です。
- ・2023年度（2024年3月末）の実績は、平均コスト1.62%、平均リスク16.5%に対し、平均リターンは12.52%という結果でした。

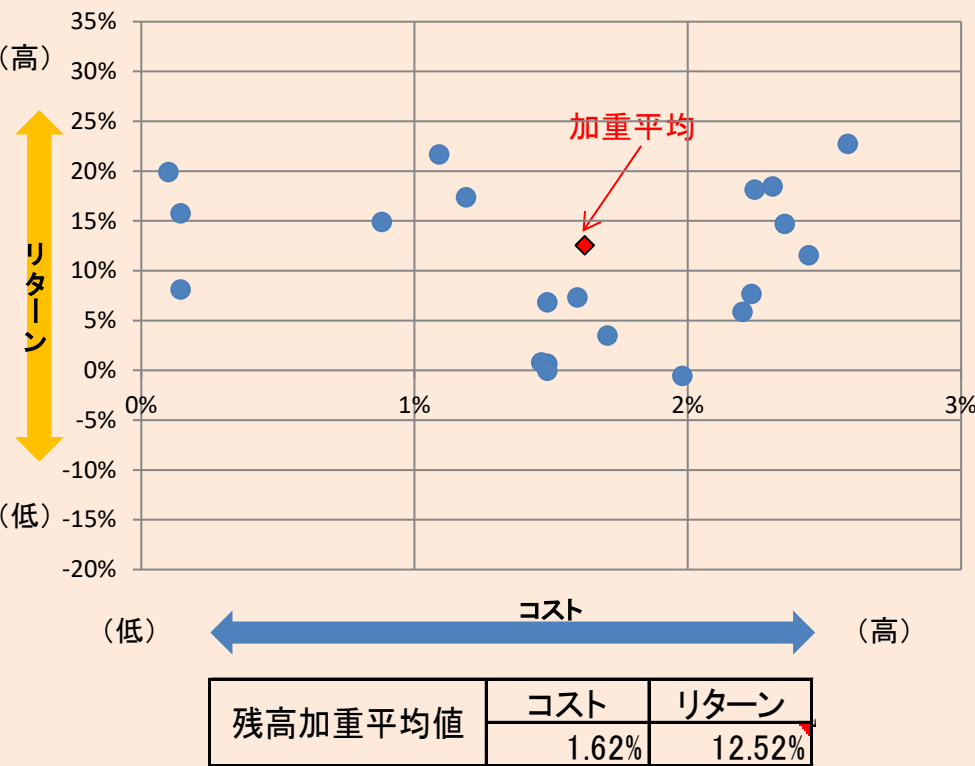
2021年度 実績



2022年度 実績



2023年度 実績

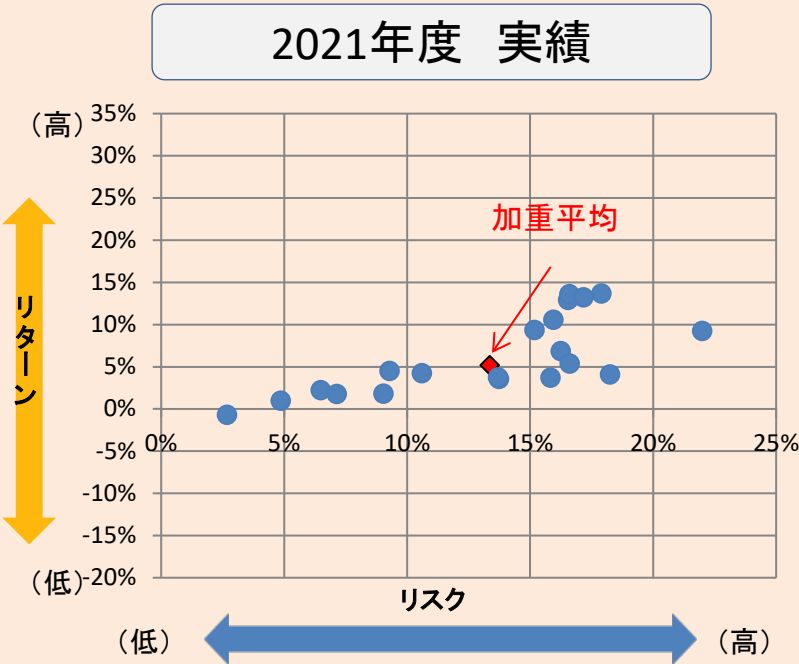


- コスト
基準日時点の販売手数料率（消費税込）の1/5と信託報酬率（消費税込）の合計値
- リターン
過去5年間のトータルリターン（年率換算）

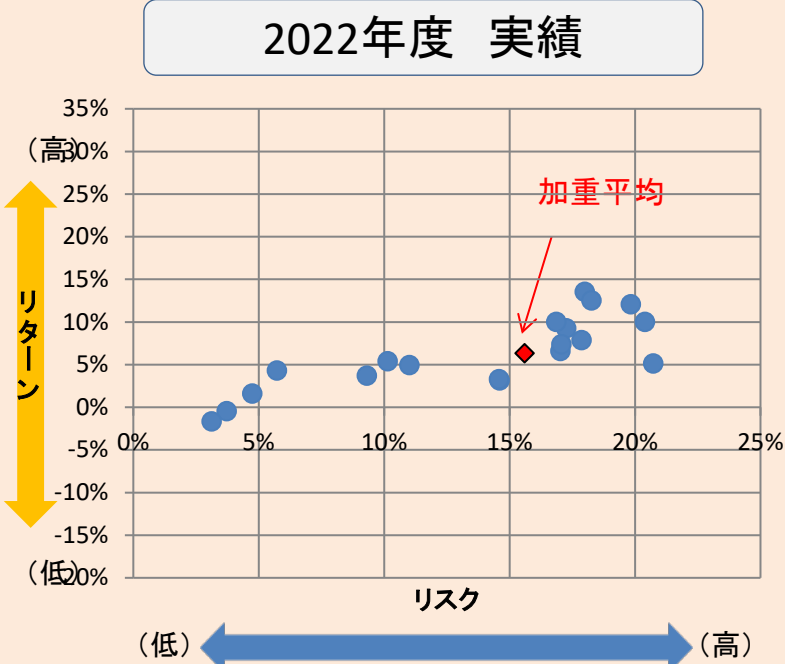
1.お客さまの最善の利益の追求 ～共通KPI～

顧客本位の業務運営に関する原則2:「顧客の最善の利益の追求」に対応

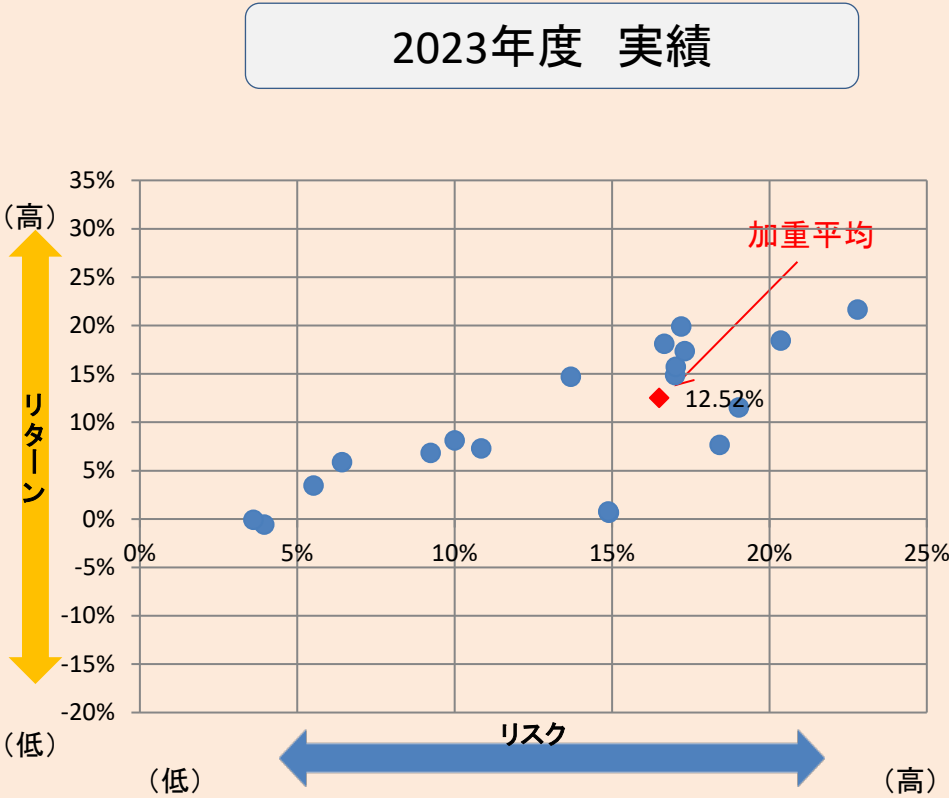
(8)②投資信託の預かり残高上位20銘柄のリスク・リターン



残高加重平均値	リスク	リターン
	14.75%	8.63%



残高加重平均値	リスク	リターン
	15.61%	6.34%



残高加重平均値	リスク	リターン
	16.50%	12.52%

○リスク
預り資産上位20銘柄について、過去5年間の月次リターンの標準偏差(年率換算)

○リターン
過去5年間のトータルリターン(年率換算)

1.お客さまの最善の利益の追求 ～共通KPI～

顧客本位の業務運営に関する原則2:「顧客の最善の利益の追求」に対応

(9)投資信託の預かり残高上位20銘柄

2024年3月末 実績

順位	銘柄名	コスト	リスク	リターン
1位	トヨタ自動車／トヨタグループ株式ファンド	1.09%	22.80%	21.66%
2位	しんきんJリートオープン(毎月決算型)	1.49%	14.90%	0.65%
3位	しんきんインデックスファンド225	0.88%	17.00%	14.87%
4位	新光US－REITオープン	2.23%	18.42%	7.66%
5位	グローバルAIファンド	2.59%	27.67%	22.74%
6位	しんきん3資産ファンド(毎月決算型)	1.49%	9.24%	6.82%
7位	グローバルSDGs株式ファンド	2.35%	13.69%	14.70%
8位	AI(人工知能)活用型世界株ファンド	2.24%	16.66%	18.13%
9位	グローバルソブリンオープン(毎月決算型)	1.71%	5.52%	3.47%
10位	しんきん6資産ファンド(毎月決算型)	1.60%	10.84%	7.30%
11位	たわらノーロード先進国株式ファンド	0.10%	17.20%	19.90%
12位	たわらノーロード日経225	0.14%	17.03%	15.75%
13位	グローバル・ハイクオリティ成長株式ファンド	2.31%	20.36%	18.45%
14位	ニッセイ／パトナム・インカムオープン	2.20%	6.42%	5.86%
15位	たわらノーロードバランス(8資産均等型)	0.14%	10.00%	8.12%
16位	投資のソムリエ	1.98%	3.95%	－0.57%
17位	ワールド・インフラ好配当株式ファンド(毎月)	2.44%	19.03%	11.54%
18位	しんきんJリートオープン(1年決算型)	1.46%	14.88%	0.78%
19位	しんきん世界アロケーションファンド	1.49%	3.60%	－0.06%
20位	三井住友・NYダウ・ジョーンズ・インデックスファンド	1.19%	17.31%	17.35%

2.利益相反の適切な管理

顧客本位の業務運営に関する原則3:「利益相反の適切な管理」に対応

○「利益相反管理方針」に基づいた適切な管理

- ・大垣西濃信用金庫では、利益相反管理方針を策定し適切な管理をおこなっています。
- ※「利益相反管理方針」を当金庫ホームページに公表しております。
URL : https://www.ogakiseino-shinkin.co.jp/daishin/dl_files/top/newly20090601.pdf
- ・商品の提案時には、お客さまの利益が不当に害されることのないよう、窓口販売チェックリストを活用し、お客さまの利益を保護すると共に、お客さまの信頼を向上させるための取組を徹底しています。
- ・金融商品のご提案時には、販売手数料の多寡に関わらず、お客さまのニーズに合った適切な商品のご提案を行っています。
- ・商品の提供会社から当金庫が受領する手数料や取引条件等について、営業部門とは別に独立した部門が確認し、お客さまの利益が不当に害されることのないよう管理しています。

3.重要な情報の分かりやすい提供

顧客本位の業務運営に関する原則5:「重要な情報の分かりやすい提供」に対応

○投資信託スタートガイドの活用

- ・投資信託初心者のお客さまに、投資信託とは何か、リスク等について等、図解による分かりやすい説明をするよう心がけています。



2時間目 投資信託とは？

3つの魅力から分かる投資信託のこと

1 少額から投資できる！

投資信託は1万円から投資ができます。そのため、お客さまに合った金額から始められます。

2 手軽に分散投資ができる！

国内外の株式や債券など、さまざまな金融商品に分散投資します。そのため、より安定した運用成果が期待できます。

3 専門家が運用してくれる！

お客さまの代わりに専門の知識と経験をもったファンドマネージャーが情報収集を行い、効果的な運用を行います。

投資信託のしくみ

投資信託とは、お客さまから集めたお金をついにまとめた、運用方針に沿って専門家がさまざまな資産へ投資・運用を行い、運用の成果をお客さまへ分配します。投資信託を販売する会社、投資信託の資産である信託財産を運用する会社や保管・管理をする会社があり、さまざまな機関が役割を分担し、運用を行っています。

※投資信託の信託財産は、販売会社である銀行が管理しているのではなく、投資信託委託会社と信託契約を結んでいる信託銀行が、信託銀行自身の財産とは別に保管・管理しています。そのため、販売会社や投資信託委託会社・委託会社（信託銀行）が破綻したとしても、投資信託の信託財産は保全されます。

3時間目 投資信託のリスクについて

投資信託のリスクとリターン

投資信託のリスクとは収益、損失の振れ幅の大きさのことです。大きなリターンを期待すればリスクも大きく、リスクを小さく抑えようとリターンも小さくなる傾向にあります。

● リスクとリターンの関係

● 投資対象別リスクとリターンのイメージ

※上記はイメージ図であり、実際のリスクとリターンとは異なる場合があります。また、将来の運用成果等を保証するものではありません。

投資信託の主なリスク

価格変動リスク

運用する商品は経済動向や需要・供給等により日々変動するため、お受取金額が投資元本を下回ることがあります。

信用リスク

投資する株式、債券およびリート等を発行している発行体の信用力の变化によって、価格が変動するため、お受取金額が投資元本を下回ることがあります。

為替リスク

外貨建てで運用する商品の場合、円とドル、円とユーロなどの為替相場の影響によって価格が変動するため、お受取金額が投資元本を下回ることがあります。

金利リスク

世界の金利は日々変動しており、金利の動向が債券価格の変動要因になります。金利が上昇すると、債券価格は下落するため、お受取金額が投資元本を下回ることがあります。

※上記のリスク以外にも、さまざまなリスクがあります。

- ・流動性リスク：投資する株式、債券およびREIT等の実現損益を確定する際に、流動性が少ないために不利な条件で換金せざるを得ず、その結果、お受取金額が投資元本を下回ることがあります。
- ・コントリビューション：投資対象国・地域における政治・経済情勢の変化等により市場に混乱が生じ、取引に対して新たな規制が設けられることで、基準価額の下落や方針に沿った運用が困難となる場合があります。
- ・REITの価格変動リスク：証券取引所で売買され、価格は不動産市場の見通しや市場の需給等のさまざまな要因で変動します。REITの価格や配当はREITの収益や財務内容の変動の影響を受けます。また、REITに関する法制度が変更となった場合、REITの価格や配当に影響を与えることが想定されます。

どんなものに投資するの？

株式

株式とは、会社が個人やその他の企業から資金を調達するために発行する出資証券のことをいいます。株式を保有すると、株主としてさまざまな権利が与えられます。

債券

債券とは、国や地方公共団体、企業などが資金を調達するために発行する有価証券のことをいい、借入証書のようなものです。債券を保有すると、あらかじめ決められた金利や償還日に応じて、定期的な利子や償還日に償還金と利子を受け取ることができます。

REIT

REIT (Real Estate Investment Trust) とは、一般的に「不動産投資信託」と呼ばれ、調達した資金で不動産を購入または賃貸で保有し、そこから得られる賃貸料収入や不動産の売却益を出資者に分配する商品です。

リスクと上手に付き合う3つの方法

「分散」「長期」の方法なら、はじめての方でもリスクを抑えた運用がはじめるやすい！

1 分散投資

全ての卵を1つのカゴに入れるよりも、複数のカゴに分けて入れることで、不測の事態の際に割れる卵は少なくなります。投資においても複数の投資対象に分けることで、リスクを抑えることが期待できます。

2 時間分散

一度にまとめて購入するのではなく、購入時期を分散することにより購入単価が平準化され、購入単価を抑えることが期待できます。

3 長期保有

投資信託を運用するときは、短期的ではなく長期的な保有や運用を行うことで、変動きや運用成果を安定化することが期待できます。

8

3.重要な情報の分かりやすい提供

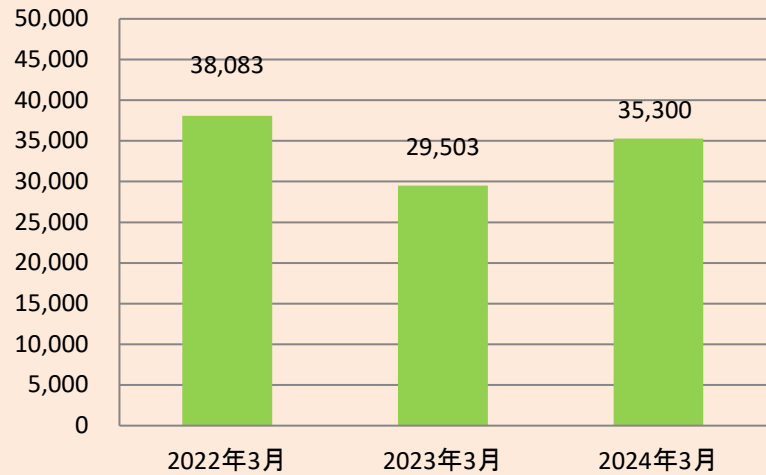
顧客本位の業務運営に関する原則5:「重要な情報の分かりやすい提供」に対応

○投資信託情報システムの提供

- ・ホームページの投資信託情報システムにより、どなたでも当金庫の投信商品について基準価額や商品内容、購入手数料他費用、騰落率等を一覧で把握できます。
- ・職員に対し本システムを使った説明方法を研修し、またお客様に対しては本システムの使い方等を販売時にご説明するなどして、商品選択時や運用状況把握の際に、よりタイムリーな商品状況をお伝えできるよう、活用しています。

回数

投信情報システム利用数



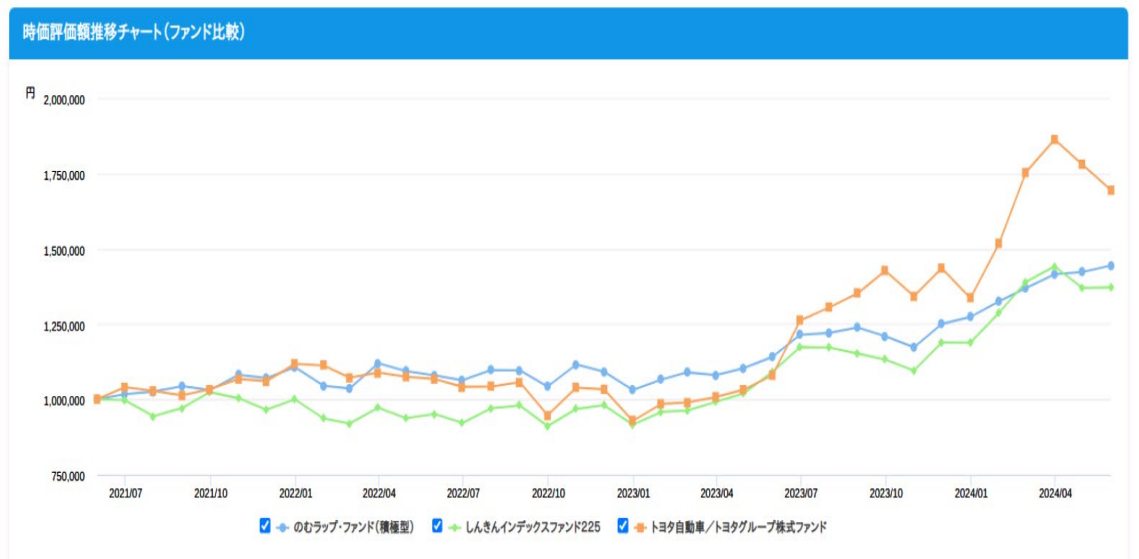
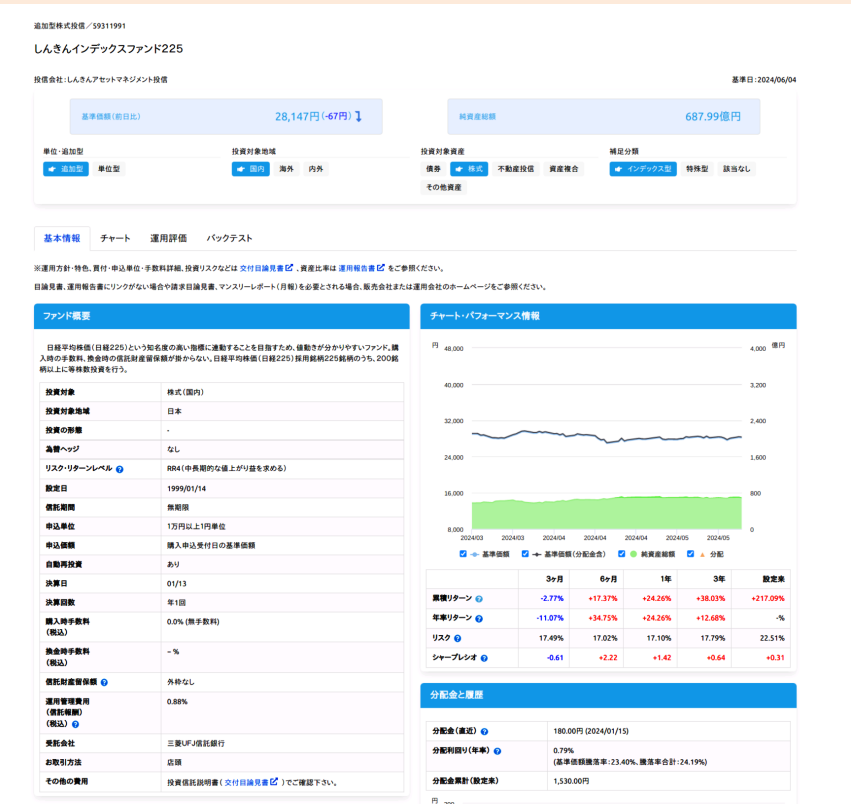
基準価額の一覧

投資対象	ファンド名	運用会社	基準価額 (円)	前日比 (円)	純資産額 (億円)	累積リターン(%) (計算日:2024/05/29)			交付目録 見書	運用報 告書	選 択
						6ヵ月	1年	3年			
債券(海外)	グローバル・ソブリン・オープン(毎月決算型)	三菱UFJアセットマネジ メント	5,466	-10	2,822.65	+7.09	+11.62	+12.57	📄	📄	☐
債券(海外)	しんきん海外ソブリン債券セレクション(米国ソブリン債券ポートフォ リオ)	しんきんアセットマネジメント	11,497	-14	3.25	+8.06	+11.18	+24.56	📄	📄	☐
バランス(国内外)	クリーンテック株式&グリーンボンド・ファンド(資産成長型)[要 称:みらいEarth(成長型)]	大和アセットマネジメント	14,476	-31	81.52	+17.53	+19.32	+18.08	📄	📄	☐
バランス(国内外)	のむらっぴ・ファンド(保守型)	野村アセットマネジメント	17,127	-39	627.76	+4.95	+7.81	+10.08	📄	📄	☐
バランス(国内外)	のむらっぴ・ファンド(普通型)	野村アセットマネジメント	27,526	-54	4,063.89	+10.18	+16.42	+26.15	📄	📄	☐
バランス(国内外)	のむらっぴ・ファンド(積極型)	野村アセットマネジメント	38,444	-36	2,536.71	+16.84	+26.93	+45.59	📄	📄	☐
バランス(国内外)	しんきん3資産ファンド(1年決算型)	しんきんアセットマネジメント	13,197	-112	47.72	+6.38	+13.33	+22.43	📄	📄	☐
バランス(国内外)	しんきんグローバル6資産ファンド(1年決算型)	しんきんアセットマネジメント	13,655	-78	50.38	+7.51	+12.66	+24.92	📄	📄	☐
株式(国内)	しんきんインデックスファンド225	しんきんアセットマネジメント	27,945	-218	683.62	+16.21	+24.52	+36.05	📄	📄	☐
株式(国内)	しんきん好配当利回り株ファンド	しんきんアセットマネジメント	30,142	-285	229.68	+15.85	+31.58	+64.85	📄	📄	☐
株式(国内)	トヨタ自動車/トヨタグループ株式ファンド	三井住友DSアセットマネジ メント	44,178	-359	1,943.47	+17.51	+54.81	+67.47	📄	📄	☐

直近のデータが表示されており、商品の情報収集に役立てることができます。

商品毎の基本情報や商品のリスク等をご覧頂けます。この画面を使い、分かりやすい説明を心がけております。

チャート機能を使い、商品別の時価評価をグラフで比較することができ、分かりやすい情報提供に役立てています。



3.重要な情報の分かりやすい提供

顧客本位の業務運営に関する 原則4:「手数料等の明確化」、
原則5:「重要な情報の分かりやすい提供」に対応

○手数料他費用の明確化

・投資信託は、委託会社や投資対象・リスク・手数料他費用等を一覧で表示し、情報を分かりやすく提供しております。

費用等

Daishin fund list

【取扱ファンド一覧】・「NISA成長」表示のファンドはNISA成長投資枠対象商品です。

主な投資対象と分類	区分	商品名	委託会社	主な投資対象	主なリスク	申込手数料 (消費税込)	信託報酬(年率) (消費税込)	信託財産留保額	解約代金の入金日 (申込日から起算)	決算日	分配金 受取選択		
債券	海外	グローバル・ソブリン・オープン (毎月決算型)	三菱UFJアセットマネジメント	世界主要先進国のソブリン債	①②	① 1億円未満 1.65% ② 1億円以上 1.1%	1.375%	なし	5営業日目	毎月17日	○		
		NISA成長	しんきん海外ソブリン (米国ソブリン債ボ-	しんきんアセットマネジメント投信	米国のソブリン債	②	1.65%	1.045%	基準価額に対して 0.1%	5営業日目	2.5.8.11月 の15日		
	国内 外	NISA成長	のむらッ・ファンド (保守型)	野村アセットマネジメント	国内外株式・国内外債券	①②③ ④⑤⑥		0.3%	基準価額に対して 0.3%	5営業日目	2月18日		
		NISA成長	のむらッ・ファンド (普通型)	野村アセットマネジメント	国内外株式・国内外債券	①②③ ④⑤⑥		0.3%	基準価額に対して 0.3%	5営業日目	2月18日	○	
		NISA成長	のむらッ・ファンド (積極型)	野村アセットマネジメント	国内外株式・国内外債券・世界REIT	①②③ ④⑤⑥	1.1%	1.518%	基準価額に対して 0.3%	5営業日目		○	
		NISA成長	しんきん3資産ファンド (1年決算型)	しんきんアセットマネジメント投信	3つの資産(国内株式、海外債券、国内不動産投信)	①②⑤	2.2%	1.001%	基準価額に対して 0.3%	5営業日目		○	
		NISA成長	しんきんグローバル6資産ファンド (1年決算型)	しんきんアセットマネジメント投信	6つの資産(国内外株式・国内外債券・国内不動産投資信託)	①②③ ④⑤⑥	2.2%	1.1%					
		NISA成長	クリーンテック株式&グリーンボンド・ファンド (資産成長型) [愛称:みらいE earth]	大和アセットマネジメント	国内外クリーンテック関連株式・国内外グリーンボンド(債券)	①② ③④	2.2%	1.14%					
		国内	NISA成長	しんきんインデックスファンド225	しんきんアセットマネジメント投信	国内株式	③	なし	0.85%		5営業日目	毎月12日	
			NISA成長	しんきん好配当利回り株ファンド	しんきんアセットマネジメント投信	国内株式(配当利回りに着目し銘柄選択を行う)	③	1.1%	1.1%	基準価額に対して 0.3%	4営業日目	8月6日	○
NISA成長	トヨタ自動車/トヨタグループ株式ファンド		三井住友DSアセットマネジメント	トヨタ自動車株式会社およびそのグループ会社の株式	③	1.65%	0.759%	なし	5営業日目	11月13日	○		
株式 国内 外	NISA成長		しんきん全世界株式インデックスファンド	しんきんアセットマネジメント投信	日本を含む世界の株式	③④	2.2%	0.4565%	なし	5営業日目	7月5日	○	
	NISA成長	グローバルSDGs株式ファンド	三井住友DSアセットマネジメント	日本を含む世界のSDGs関連株式	③④	3.3%	1.694%	なし	6営業日目	2月7日	○		
	NISA成長	グローバル・ハイクオリティ成長株式ファンド (愛称:未来の世界)	アセットマネジメント One	日本を含む世界の株式	③④	3.3%	1.65%	基準価額に対して 0.3%	6営業日目	9月6日	○		
	NISA成長	イノベティブ・カーボンニュートラル戦略ファンド	三井住友DSアセットマネジメント	日本を含む世界のカーボンニュートラル関連株式	③④	3.3%	1.925%	なし	5営業日目	4月7日	○		
	NISA成長	グローバルAIファンド	三井住友DSアセットマネジメント	日本を含む世界のAI関連株式	③④	3.3%	1.925%	なし	5営業日目	9月25日	○		
		サイバーセキュリティ株式オープン (為替ヘッジなし) 予想分配金提示型	三菱UFJアセットマネジメント	日本を含む世界のサイバーセキュリティ関連株式	③④	3.3%	1.87%	なし	5営業日目	毎月6日	○		
海外	NISA成長	しんきんS&P500インデックスファンド	しんきんアセットマネジメント	米国株式	④	2.2%	0.4565%	なし	5営業日目	12月20日	○		
	NISA成長	AI(人工知能)活用型世界株ファンド (愛称:ディープAI)	アセットマネジメント One	日本を除く世界の株式	④	3.3%	1.584%	基準価額に対して 0.3%	6営業日目	9月23日	○		
リート	国内	NISA成長	しんきんリートオープン (1年決算型)	しんきんアセットマネジメント	国内不動産投信	⑤	2.2%	1.023%	基準価額に対して 0.3%	4営業日目	1月20日	○	
			しんきんリートオープン (毎月決算型)	しんきんアセットマネジメント	国内不動産投信	⑤	2.2%	1.045%	基準価額に対して 0.3%	4営業日目	毎月20日	○	
	国内 外	NISA成長	バインブリッジ・グローバルテクノロジー・インフラ・ファンド (愛称:未来インフラ)	バインブリッジ・インベストメンツ	日本を含む世界のテクノロジー・インフラ関連REITおよび株式	③④ ⑤⑥	3.3%	1.738%	なし	6営業日目	12月15日	○	
		海外		新光US-REITオープン (愛称:ゼウス)	アセットマネジメント One	米国の不動産投資信託証券	⑥	2.75%	1.683%	基準価額に対して 0.1%	5営業日目	毎月5日	○

投資信託に関する主なリスク

1 主に国内債券を投資対象とするファンド

金利変動等による組入債券の価格変動、組入債券の発行者の信用状況の変化等により基準価額が下落し、元本欠損が生ずることがある。

2 主に海外債券を投資対象とするファンド

金利変動等による組入債券の価格変動、組入債券の発行者の信用状況の変化、為替相場の変動等により基準価額が下落し、元本欠損が生ずることがある。

3 主に国内株式を投資対象とするファンド

組入株式の価格変動、組入株式の発行者の信用状況の変化等により基準価額が下落し、元本欠損が生ずることがある。

4 主に海外株式を投資対象とするファンド

組入株式の価格変動、組入株式の発行者の信用状況の変化、為替相場の変動等により基準価額が下落し、元本欠損が生ずることがある。

5 主に国内不動産投信を投資対象とするファンド

組入不動産投資信託証券の価格変動、組入不動産投資信託証券の発行者の信用状況の変化等により基準価額が下落し、元本欠損が生ずることがある。

6 主に海外不動産投信を投資対象とするファンド

組入不動産投資信託証券の価格変動、組入不動産投資信託証券の発行者の信用状況の変化、為替相場の変動等により基準価額が下落し、元本欠損が生ずることがある。

主な投資対象と分類

区分

商品名

委託会社

主な投資対象

主なリスク

申込手数料
(消費税込)

信託報酬(年率)
(消費税込)

信託財産留保額

解約代金の入金日
(申込日から起算)

決算日

分配金
受取選択

| バランス | NISA つみたて | たわろーロード バランス(8資産均等型) | アセットマネジメント One | 国内株式・国内債券・先進国株式・先進国債券・新興国株式・新興国債券・国内リート・先進国リート | ①②③ ④⑤⑥ | なし | 0.143% | なし | 6営業日目 | 10月12日 | ○ |
| バランス | NISA つみたて | ダイワ・ライフ・バランス30 | 大和アセットマネジメント | 国内外株式・国内外債券 | ①② ③④ | なし | 0.198% | なし | 5営業日目 | 6月5日 | ○ |

資産全額投資

【NISAつみたて投資枠専用ファンド】

主な投資対象と分類	区分	商品名	委託会社	主な投資対象	主なリスク	申込手数料 (消費税込)	信託報酬(年率) (消費税込)	信託財産留保額	解約代金の入金日 (申込日から起算)	決算日	分配金 受取選択
バランス	NISA つみたて	たわらノーロード バランス(8資産均等型)	アセットマネジメント One	国内株式・国内債券・先進国株式・先進国債券・新興国株式・新興国債券・国内リート・先進国リート	①②③ ④⑤⑥	なし	0.143%	なし	6営業日目	10月12日	○
バランス	NISA つみたて	ダイワ・ライフバランス30	大和アセットマネジメント	国内外株式・国内外債券	①② ③④	なし	0.198%	なし	5営業日目	6月5日	○

・投資信託の手数料他費用の内容については、「投資信託スタートガイド」や当金庫ホームページの投資信託説明箇所を使い、どんな時にかかる費用なのか、どのような形で支払われるのかを解説しております。

投資信託にはどんな費用がかかるの？

投資信託にかかる費用には、3つの種類があります。投資信託を運用するときにそれぞれどのような費用がかかるのかを把握しましょう。

※料率などご負担いただく費用は商品によって異なりますので、裏表紙のご留意事項または契約締結前交付書面、投資信託説明書(交付目論見書および目論見書補完書面)にてご確認ください。



3.重要な情報の分かりやすい提供

顧客本位の業務運営に関する 原則4:「手数料等の明確化」、
原則5:「重要な情報の分かりやすい提供」に対応

○重要情報シートの活用

- ・取扱い金融商品の種類や商品ラインナップの考え方、相談窓口などを一目でご理解いただけるよう、重要情報シート(金融事業者編)をホームページに掲載しております。(2022年6月より)

※重要情報シート(金融事業者編)

掲載 URL: https://www.ogakiseino-shinkin.co.jp/daishin/dl_files/top/important_sheet.pdf

- ・お客さまが投資信託や保険商品などの金融商品に関する重要な情報を一目で把握し、商品の比較を横断的にしていただけるよう、重要情報シート(個別商品編)を作成し、活用をしております。

重要情報シートには、主に商品内容、リスクと運用実績、費用、換金・解約の条件、利益相反の可能性などを記載している他、お客さまの目線に立った質問例なども記載しております。

※なお、当金庫はファンドオブファンズ方式の投資信託や外貨建一時払保険など、パッケージ化された商品のお取り扱いがございますが、これらのパッケージを構成する商品を当金庫でご購入いただくことはできません。

重要情報シートサンプル 金融事業者編

重要情報シートサンプル 個別商品編

一定の投資性金融商品の販売・販売仲介に係る



重要情報シート（金融事業者編）

1. 当金庫の基本情報（当金庫はお客さまに金融商品の販売又は販売仲介をする者です）

信用金庫名	大垣西濃信用金庫
登録番号	東海財務局長（登金）第 29 号
加入協会	無
当金庫の概要を記した WEB サイト	https://www.ogakiseino-shinkin.co.jp/index.html 

2. 取扱商品（当金庫がお客さまに提供できる金融商品の種類は次のとおりです）

円預金	○	外貨預金	○
国内株式	—	外国株式	—
円建債券（個人向け国債、利付国債）	○	外貨建債券	—
特殊な債券（仕組債等）	—	投資信託	○
ラップ口座	—	E T F、E T N	—
R E I T	—	その他の上場商品	—
保険（投資リスクなし）	○	保険（投資リスクあり）	○
金銭信託（信金中央金庫の代理店としての取扱い）	○	その他：N I S A、つみたてN I S A、iDeCo 等お客さまの資産形成に資する制度もご案内しております。	

3. 商品ラインナップの考え方（商品選定のコンセプトや留意点は次のとおりです）

- お客さまのニーズやライフプランにお応えするため、お客さまにご資産の状況、取引経験、知識、目的、リスク許容度等に応じて最適な商品をご選択いただけるよう幅広い商品を取り揃えております。
- 商品選定にあたっては類似する複数の商品について商品の分かりやすさ、リスクや運用実績、お客さまにご負担いただく費用等を比較検討し、お客さまによりご満足いただける商品ラインナップになるよう努めております。
- お客さまの多様なニーズやライフプランの変化にお応えできるよう商品ラインナップの見直し、サービスの充実を図ってまいります。

4. 苦情・相談窓口

当金庫お客様相談窓口	コンプライアンス統括部 0120－167－506 （受付時間 平日 9：00～17：00）
信用金庫共通の相談窓口	全国しんきん相談所（一般社団法人 全国信用金庫協会） 03－3517－5825 （受付時間 平日 9：00～17：00）
金融庁金融サービス利用者相談室	0570－016811（03－5251－6811） （受付時間 平日 10：00～17：00）

2022 年 6 月

一定の投資性金融商品の販売・販売仲介に係る



重要情報シート（個別商品編）

1. 商品等の内容（当金庫は、組成会社等の委託を受け、お客様に商品の販売の勧誘を行っています）

金融商品の名称・種類	しんきんインデックスファンド 2 2 5・証券投資信託
組成会社（運用会社）	しんきんアセットマネジメント投信株式会社
販売委託元	しんきんアセットマネジメント投信株式会社
金融商品の目的・機能	わが国の株式市場の動きと長期成長をとらえることを目標に、日経平均株価（日経 225）に連動する投資成果の獲得を目指します。
商品組成に携わる事業者が想定する購入層	中長期での資産形成を目的とし、元本割れリスクを許容する方
パッケージ化の有無	パッケージ化商品ではありません。
クーリング・オフの有無	クーリング・オフ（契約日から一定期間、解除できる仕組み）の適用はありません。

次のような
ご質問があれば
お問い合わせください

- ①あなたの金庫が提供する商品のうち、この商品が、私の知識、経験、財産状況、ライフプラン、投資目的に照らして、ふさわしいという根拠は何か。
- ②この商品を購入した場合、どのようなフォローアップを受けることができるのか。
- ③この商品が複数の商品を組み合わせたものである場合、個々の商品購入と比べて、どのようなメリット・デメリットがあるのか。

2. リスクと運用実績（本商品は、元本が保証されず、損失が生じるリスクがあります）

損失が生じるリスクの内容	当ファンドは、主に株式を投資対象としますので、株式の価格の下落や発行体の経営状態の悪化などの影響により、基準価額が下落し、損失を被ることがあります。主なリスクは以下のとおりです。価格変動リスク、信用リスク、流動性リスク
〔参考〕過去 1 年間の収益率	120.8% （2023 年 7 月末現在の騰落率）
〔参考〕過去 5 年間の収益率	平均：7.5% 最低：-11.1%（2018 年 12 月末） 最高：54.8%（2021 年 3 月末）；（2018 年 8 月～2023 年 7 月の各月末における直近 1 年間の騰落率）

※ 上記の内容の詳細は交付目論見書の「投資リスク」、「運用実績」の箇所に記載しています。

次のような
ご質問があれば
お問い合わせください

- ④上記のリスクについて、私が理解できるように説明してほしい。
- ⑤相対的にリスクが低い類似商品はあるのか。あればその商品について説明してほしい。

3. 費用（本商品の購入又は保有には、費用が発生します）

購入時に支払う費用（販売手数料など）	詳細は交付目論見書の「ファンドの費用・税金」の箇所に記載しています。
継続的に支払う費用（信託報酬など）	運用管理費用（信託報酬）年率 0.88%（税抜 0.80%）。その他費用・手数料等が実費でファンドから支払われます。これらは事前に料率、上限等を表示することはできません。
運用成果に応じた費用（成功報酬など）	ありません。

※ 上記以外に生ずる費用を含めて詳細は交付目論見書の「手続・手数料等」の箇所に記載しています。

次のような
ご質問があれば
お問い合わせください

- ⑥私がこの商品に〇〇万円を投資したら、それぞれのコストが実際にいくらかかるのか説明してほしい。
- ⑦費用がより安い類似商品はあるか。あればその商品について説明してほしい。

4.お客さまにふさわしいサービスの提供

顧客本位の業務運営に関する原則6:「顧客にふさわしいサービスの提供」に対応

- ・お客さまお一人ひとりのライフプランやニーズ、リスクの考え方他知識経験・資産の状況等をお客様にお尋ねした上で、横断的な商品のご提案を致します。
- ・お客さまの多様なニーズにお応えするため、商品カテゴリーのバランスに考慮し定期的に商品の充実を図っております。
- ・高齢者のお客さま(75歳以上)に金融商品をご提案する際は、営業店長又は役席者の同席のもと十分な説明を行っております。また、複数回面談や75歳未満のご家族の同席をいただくなどし、より慎重なご提案・販売態勢を確保しております。
- ・金融商品・サービスをご購入ご利用いただいた後も、お客さまに寄り添い、必要な情報やアドバイスを継続的に提供しております。
- ・特に投資信託・外貨建保険・変額保険を保有中の高齢者(75歳以上)のお客さまに対しては、1年に1回定期的に運用状況や契約商品の商品性確認等のアフターフォローを実施しています。

○投資信託ラインナップ

投資信託対象分類			取扱商品数			商品構成比			毎月分配型商品割合		
			2022年3月	2023年3月	2024年3月	2022年3月	2023年3月	2024年3月	2022年3月	2023年3月	2024年3月
債券	海外債券		2	2	2	8.7%	7.7%	6.9%	50.0%	50.0%	50.0%
バランス型	国内外バランス型		3	4	6	13.0%	15.4%	20.7%	66.7%	50.0%	0.0%
株式	国内株式		3	3	3	13.0%	11.5%	10.3%	0.0%	0.0%	0.0%
	国内外株式		4	6	6	17.4%	23.1%	20.7%	25.0%	16.7%	16.7%
	海外株式		4	4	2	17.4%	15.4%	6.9%	25.0%	25.0%	0.0%
リート	国内リート		2	2	2	8.7%	7.7%	6.9%	50.0%	50.0%	50.0%
	国内外リート		1	1	1	4.3%	3.8%	3.4%	0.0%	0.0%	0.0%
	海外リート		1	1	1	4.3%	3.8%	3.4%	100.0%	100.0%	100.0%
つみたて専用商品	国内外バランス型		1	1	4	4.3%	3.8%	13.8%	0.0%	0.0%	0.0%
	国内株式		1	1	1	4.3%	3.8%	3.4%	0.0%	0.0%	0.0%
	海外株式		1	1	1	4.3%	3.8%	3.4%	0.0%	0.0%	0.0%
合 計			23	26	29	100.0%	100.0%	100.0%	30.4%	26.9%	13.8%

- ・新NISA対応により、2023年11月にバランス型投信8商品を導入し、ラインナップの充実を図りました。

○生命保険ラインナップ

生命保険種類			取扱商品数			商品構成比		
			2022年3月	2023年3月	2024年3月	2022年3月	2023年3月	2024年3月
個人年金保険	平準払		2	2	2	15.4%	18.2%	18.2%
	一時払		0	0	0	0.0%	0.0%	0.0%
終身保険	平準払		1	1	1	7.7%	9.1%	9.1%
	一時払		4	4	4	30.8%	36.4%	36.4%
医療保険	平準払		3	1	1	23.1%	9.1%	9.1%
がん保険	平準払		2	1	1	15.4%	9.1%	9.1%
収入保障保険	平準払		1	0	0	7.7%	0.0%	0.0%
変額保険	平準払		0	1	1		9.1%	9.1%
定期保険	平準払		0	1	1		9.1%	9.1%
合計			13	11	11	100.0%	100.0%	100.0%

- ・2024年3月時点の生命保険商品数は11商品となっております。

※当金庫はファンドオブファンズ方式の投資信託や外貨建一時払保険など、パッケージ化された商品のお取り扱いがございますが、これらのパッケージを構成する商品を当金庫でご購入いただくことはできません。

※当金庫は事業形態上、金融商品の組成に携わる金融事業者には該当しません。

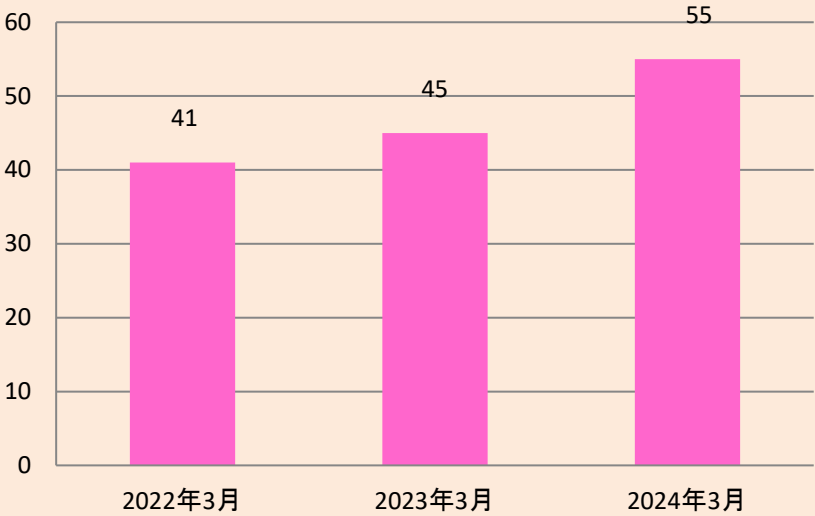
5.職員に対する適切な動機づけの枠組み等

顧客本位の業務運営に関する原則7:「従業員に対する適切な動機づけの枠組み等」に対応

○マネーアドバイザー(MA)の育成

- ・お客様のライフプラン・資産状況等に合わせ、様々な金融商品・サービス等について適切なアドバイスを提供するため、高い専門性とコンサルティング能力を身につけたマネーアドバイザーの育成を図っております。
- ・MA資格取得者に対し、知識のブラッシュアップを図るため定期的にMAフォローアップ研修を開催、フィデューシャリー・デューティー・金融商品販売上のコンプライアンス・商品知識等について学ぶ機会を活用し、お客さまに何が最適なのか、お客さまに寄り添い一緒に考えることのできる人材育成を実施しています。

MA人数推移



MA制度は2018年4月に発足しました。約1年間に亘る育成期間を経て、高い専門性とコンサルティング能力により、お客様のご意向に沿った適切なアドバイスを提供しております。MAは毎年計画的に育成し、2024年3月末現在55名となっております。

2023年度MA研修	実施回数
M A 研修実施回数	9
M A フローアップ研修実施回数	7
合計	16

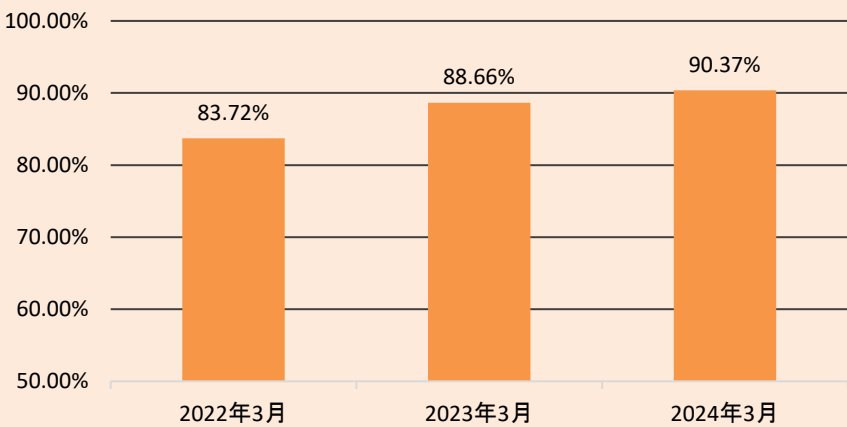


○FP資格(3級以上)の資格取得支援

- ・お客様をサポートするために必要な知識を身につけるよう、職員に対し通信教育受講勧奨やセミナー等の支援を通して、FP取得者の増加を図っております。

資 格	FP3級以上資格取得者割合推移		
	2022年3月	2023年3月	2024年3月
職 員 数	473名	432名	405名
取 得 人 数	396名	383名	366名
取 得 割 合	83.72%	88.66%	90.37%

FP3級以上資格取得者割合推移



金融庁「顧客本位の業務運営に関する原則」との対応関係表					
金融事業者の名称			大垣西濃信用金庫		
■取組方針掲載ページのURL：			https://www.ogakiseino-shinkin.co.jp/daishin/dl_files/kanyuhoushin/fiduciary_duty.pdf		
■取組状況掲載ページのURL：			https://www.ogakiseino-shinkin.co.jp/daishin/dl_files/kanyuhoushin/fiduciary_duty.pdf		
原 則			実施・不実施	取組方針の該当箇所	取組状況の該当箇所
原則 2	【顧客の最善の利益の追求】 金融事業者は、高度の専門性と職業倫理を保持し、顧客に対して誠実・公正に業務を行い、顧客の最善の利益を図るべきである。金融事業者は、こうした業務運営が企業文化として定着するよう努めるべきである。		実施	p1 お客さまの最善の利益の追求	P1 1.お客さまの最善の利益の追求 取組状況・定量指数
	(注)	金融事業者は、顧客との取引に際し、顧客本位の良質なサービスを提供し、顧客の最善の利益を図ることにより、自らの安定した顧客基盤と収益の確保につなげていくことを目指すべきである。	実施	P1 1.お客さまの最善の利益の追求	P1 1.お客さまの最善の利益の追求 取組状況・定量指数 P2～P7
原則 3	【利益相反の適切な管理】 金融事業者は、取引における顧客との利益相反の可能性について正確に把握し、利益相反の可能性がある場合には、当該利益相反を適切に管理すべきである。金融事業者は、そのための具体的な対応方針をあらかじめ策定すべきである。		実施	P1 2.利益相反の適切な管理	P1 2.利益相反の適切な管理 取組状況 P8
	(注)	金融事業者は、利益相反の可能性を判断するに当たって、例えば、以下の事情が取引又は業務に及ぼす影響についても考慮すべきである。 - 販売会社が、金融商品の顧客への販売・推奨等に伴って、当該商品の提供会社から、委託手数料等の支払を受ける場合 - 販売会社が、同一グループに属する別の会社から提供を受けた商品を販売・推奨等する場合 - 同一主体又はグループ内に法人営業部門と運用部門を有しており、当該運用部門が、資産の運用先に法人営業部門が取引関係等を有する企業を選ぶ場合	実施	P1 2.利益相反の適切な管理	P8 2.利益相反の適切な管理 取組状況
原則 4	【手数料等の明確化】 金融事業者は、名目を問わず、顧客が負担する手数料その他の費用の詳細を、当該手数料等がどのようなサービスの対価に関するものかを含め、顧客が理解できるよう情報提供すべきである。		実施	P1 3.重要な情報の分かりやすい提供	P1 3.重要な情報の分かりやすい提供 取組状況 P10
原則 5	【重要な情報の分かりやすい提供】 金融事業者は、顧客との情報の非対称性があることを踏まえ、上記原則4に示された事項のほか、金融商品・サービスの販売・推奨等に係る重要な情報を顧客が理解できるよう分かりやすく提供すべきである。		実施	P1 3.重要な情報の分かりやすい提供	P1 3.重要な情報の分かりやすい提供 取組状況 P8～P11
	(注1)	重要な情報には以下の内容が含まれるべきである。 - 顧客に対して販売・推奨等を行う金融商品・サービスの基本的な利益(リターン)、損失その他のリスク、取引条件 - 顧客に対して販売・推奨等を行う金融商品の組成に携わる金融事業者が販売対象として想定する顧客属性 - 顧客に対して販売・推奨等を行う金融商品・サービスの選定理由(顧客のニーズ及び意向を踏まえたものであると判断する理由を含む) - 顧客に販売・推奨等を行う金融商品・サービスについて、顧客との利益相反の可能性がある場合には、その具体的内容(第三者から受け取る手数料等を含む)及びこれが取引又は業務に及ぼす影響	実施	P1 3.重要な情報の分かりやすい提供	P1 3.重要な情報の分かりやすい提供 取組状況 P8～P11
	(注2)	金融事業者は、複数の金融商品・サービスをパッケージとして販売・推奨等する場合には、個別に購入することが可能であるか否かを顧客に示すとともに、パッケージ化する場合としない場合を顧客が比較することが可能となるよう、それぞれの重要な情報について提供すべきである((注2)～(注5)は手数料等の情報を提供する場合においても同じ)。	実施	P1 3.重要な情報の分かりやすい提供	P11 3.重要な情報の分かりやすい提供 9行※印

原 則			実施・不実施	取組方針の該当箇所	取組状況の該当箇所
原則 5	(注3)	金融事業者は、顧客の取引経験や金融知識を考慮の上、明確、平易であって、誤解を招くことのない誠実な内容の情報提供を行うべきである。	実施	P1 3.重要な情報の分かりやすい提供	P1 3.重要な情報の分かりやすい提供 取組状況 P8～P11
	(注4)	金融事業者は、顧客に対して販売・推奨等を行う金融商品・サービスの複雑さに見合った情報提供を、分かりやすく行うべきである。単純でリスクの低い商品の販売・推奨等を行う場合には簡潔な情報提供とする一方、複雑又はリスクの高い商品の販売・推奨等を行う場合には、顧客において同種の商品の内容と比較することが容易となるように配意した資料を用いつつ、リスクとリターンの関係など基本的な構造を含め、より分かりやすく丁寧な情報提供がなされるよう工夫すべきである。	実施	P1 3.重要な情報の分かりやすい提供	P1 3.重要な情報の分かりやすい提供 取組状況 P8～P11
	(注5)	金融事業者は、顧客に対して情報を提供する際には、情報を重要性に応じて区別し、より重要な情報については特に強調するなどして顧客の注意を促すべきである。	実施	P1 3.重要な情報の分かりやすい提供	P1 3.重要な情報の分かりやすい提供 取組状況 P8～P11
原則 6	【顧客にふさわしいサービスの提供】 金融事業者は、顧客の資産状況、取引経験、知識及び取引目的・ニーズを把握し、当該顧客にふさわしい金融商品・サービスの組成、販売・推奨等を行うべきである。		実施	P1 4.お客さまにふさわしいサービスの提供	P1 4.お客さまにふさわしいサービスの提供 取組状況 P12
	(注1)	金融事業者は、金融商品・サービスの販売・推奨等に関し、以下の点に留意すべきである。 ・ 顧客の意向を確認した上で、まず、顧客のライフプラン等を踏まえた目標資産額や安全資産と投資性資産の適切な割合を検討し、それに基づき、具体的な金融商品・サービスの提案を行うこと ・ 具体的な金融商品・サービスの提案は、自らが取り扱う金融商品・サービスについて、各業法の枠を超えて横断的に、類似商品・サービスや代替商品・サービスの内容(手数料を含む)と比較しながら行うこと ・ 金融商品・サービスの販売後において、顧客の意向に基づき、長期的な視点にも配慮した適切なフォローアップを行うこと	実施	P1 4.お客さまにふさわしいサービスの提供・2お客さまの最善の利益の追求	P1 4.お客さまにふさわしいサービスの提供 取組状況 P12 P2
	(注2)	金融事業者は、複数の金融商品・サービスをパッケージとして販売・推奨等する場合には、当該パッケージ全体が当該顧客にふさわしいかについて留意すべきである。	実施	P1 4.お客さまにふさわしいサービスの提供	P12 4.お客さまにふさわしいサービスの提供 最終行から2行目※印
	(注3)	金融商品の組成に携わる金融事業者は、商品の組成に当たり、商品の特性を踏まえて、販売対象として想定する顧客属性を特定・公表するとともに、商品の販売に携わる金融事業者においてそれに沿った販売がなされるよう留意すべきである。	非該当	P1 4.お客さまにふさわしいサービスの提供	P12 4.お客さまにふさわしいサービスの提供 最終行※印
	(注4)	金融事業者は、特に、複雑又はリスクの高い金融商品の販売・推奨等を行う場合や、金融取引被害を受けやすい属性の顧客グループに対して商品の販売・推奨等を行う場合には、商品や顧客の属性に応じ、当該商品の販売・推奨等が適当かより慎重に審査すべきである。	実施	P1 4.お客さまにふさわしいサービスの提供・2お客さまの最善の利益の追求	P1 4.お客さまにふさわしいサービスの提供 取組状況 P12 P2～P3
	(注5)	金融事業者は、従業員がその取り扱う金融商品の仕組み等に係る理解を深めるよう努めるとともに、顧客に対して、その属性に応じ、金融取引に関する基本的な知識を得られるための情報提供を積極的に行うべきである。	実施	P1 4.お客さまにふさわしいサービスの提供・2お客さまの最善の利益の追求	P1 4.お客さまにふさわしいサービスの提供 取組状況 P12 P8～P11
	【従業員に対する適切な動機づけの仕組み等】 金融事業者は、顧客の最善の利益を追求するための行動、顧客の公正な取扱い、利益相反の適切な管理等を促進するように設計された報酬・業績評価体系、従業員研修その他の適切な動機づけの仕組みや適切なガバナンス体制を整備すべきである。		実施	P1 4.職員に対する適切な動機づけの仕組み等	P1 5.職員に対する適切な動機づけの仕組み等 取組状況 P13
原則 7	(注)	金融事業者は、各原則(これらに付されている注を含む)に関して実施する内容及び実施しない代わりに講じる代替策の内容について、これらに携わる従業員に周知するとともに、当該従業員の業務を支援・検証するための体制を整備すべきである。	実施	P1 4.職員に対する適切な動機づけの仕組み等	P1 5.職員に対する適切な動機づけの仕組み等 取組状況 P13

【照会先】	
部署	営業推進部 営業推進課
連絡先	Tel.0584-75-6141 メールアドレス:eigyous@ogakiseino-shinkinbank.jp